

横芝 ロータリークラブ



会報

創立 昭和41年10月6日
承認 昭和41年11月21日
例会日時 毎週月曜
(12:30~13:30)
例会場 中国ダイニング富士屋
(横芝駅前)
事務局 〒289-1732
千葉県山武郡横芝光町横芝1519-6
TEL 0479-80-1177 FAX 80-1178
ホームページ <http://www.yokoshiba-rc.jp>
Eメール info@yokoshiba-rc.jp

2007~2008 RI会長 ウィルフリッド J. ウィルキンソン
第2790地区ガバナー 白鳥政孝 第6分区ガバナー補佐 秋葉吉秋

平成19年9月18日発行 NO.1821 第1949例会 会報委員長 伊藤迪彦

例会報告 平成19年9月18日

国際ロータリー第2790地区第6分区

2007-2008年度 3クラブ合同

ガバナー公式訪問例会

(エストレーホテル)

点鐘	司会 東金RC幹事	鈴木康道
国歌斉唱	東金ビューRC会長	北村 聡
奉仕の理想斉唱		
四つのテスト唱和	横芝RC幹事	石田喜一
来賓紹介	東金ビューRC幹事	嘉瀬尚男
歓迎の言葉	東金RC	宮原信道
ガバナー補佐挨拶	ガバナー補佐	秋葉吉秋
基調講演	ガバナー	白鳥政孝
質疑応答		
点鐘	横芝RC会長	齋藤逸朗



東金RC 宮原信道会長



東金ビューRC 北村聡会長



横芝RC 齋藤逸朗会長



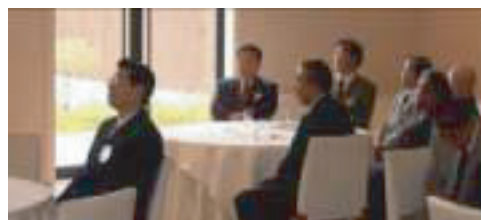
白鳥政孝ガバナー



秋葉吉秋ガバナー補佐



四つのテスト唱和 (石田喜一幹事)



クラブ協議会 (鈴木恭一職業奉仕委員長の発表)

出席報告



例会日	会員数	出席	MU	%
9月18日	37	37	0	100.0

☆ 欠席をしたらメイクアップをしましょう ☆

美しい形（心）を作ろう

ガバナー 白鳥 政孝

国際ロータリー第2790地区ロータリアンの皆様、2007-2008年度の一年間、皆様と共に奉仕できますことは、私にとりましてこの上ない光栄であります。

皆様におかれましては、「やるぞ」という決意も新たにそれぞれの任務に臨まれたことと思えます。

私は、思わぬ事情により連続してガバナーを務めることになりましたが、皆様と同じように新鮮な心を持ち続けて任務を全うする所存でございます。

ウィルフリッドJ. ウィルキンソンRI会長はRIテーマとして“ROTARY SHARES” 「ロータリーは分かちあいの心」を提唱されました。私はこのRIテーマの下にロータリーを信じ、仲間を信頼し、語りあい、誇りと夢を持ち、一緒になり奉仕の道を歩んでまいりたいと思えます。

ロータリーは先人の英知と努力によって、人間を大事にする団体、人間の尊厳を大事にする団体、人間の関係を大事にする団体として進化を遂げてまいりました。その成果は、多岐にわたる奉仕プロジェクトが開発されて世のお役に立っていることから理解できます。それもひとえに、先人ロータリアンがロータリー運動の拠って立つ原理原則を真摯に追求し、ロータリーの基本的な考え方（人生観、世界観）を築いて、この世にロータリーが存在する価値観を見出したからであります。

その後、世の変化に応じてプロジェクトに改善・改良を加えてまいり、社会奉仕活動は完成度の高いものになってまいりました。そのあまりロータリーの綱領（目的）である①クラブ奉仕 ②職業奉仕 ③社会奉仕 ④国際奉仕のうち、クラブ奉仕や職業奉仕が軽んじられ、社会奉仕、国際奉仕に重点が置かれるようになり、四大奉仕にバランスを欠くことがおきてまいりました。

ロータリーは単に奉仕をする団体となり、奉仕する心を育くむ人の集まりでなくなってきていることが懸念されるのです。今後、ロータリーが生き残りをかけるには、例会を充実させて、ロータリーが人を作り、世のお役に立つという原点回帰（社会奉仕に関する1923年の声明）を強く推進しなければならないと思えます。つまり、ロータリーの哲学を学び、それを日々実践することです。

およそスポーツに限らず、芸術、芸道など、その道を追うところには練り上げられた合理的な形（フォーム）があります。傍で見てもその形というものは実に美しいものです。一流のスポーツ選手のフォームや茶道・華道における形の美しさというものが見られます。これらの形は目に見えるのですが、ロータリーにおける形は心の中に作られるものだから、外部からはなかなか窺い知ることにはできません。

ロータリーにも基本となる美しい形があります。それは、ロータリーの歴史と先人の思想を正しく認識し、ロータリーの本質を見抜くことから作られます。この美しい形（心）が育まれる所が例会であり、ロータリーの目的とする一番目に掲げられているクラブ奉仕であります。

二番目にある職業奉仕はロータリーの全体を貫く基本的な考えであり、この考えは万古不易なものです。それだけにロータリーの説く職業奉仕を繰り返し学び、身につけていくことが肝心となります。クラブ奉仕の形は時代により変わることがありますが、職業奉仕の形は全く変わりません。基本となる理念に変わりはないのであります。

このようなロータリーの美しい形（心）を身に付けようとしているロータリアンが、「ロータリーは分かちあいの心」を発揮して積極的に行動すると、思っても見ない未知の分野の体験、豊かな経験、多くの素晴らしい人との出会いなど、数々の恩恵をロータリーはもたらしてくれます。より深い人生の機微に触れることができるのです。

得られた美しい形（心）が質の良い奉仕を後押し、世の中を良いほうに導きます。今一度原点であるロータリーの崇高な精神の理解に努める必要があると思えます。

本年度のRIテーマ「ロータリーは分かちあいの心」を自分自身に、身の周りに、地域社会に、世界に対して有効に発揮するには、まず、他のお役に立つことに専心することです。GIVE AND TAKEですが、GIVEを積み重ねることに徹底して、初めて恩恵が自然と手に入るのです。「最もよく奉仕する者、最も多く報いられる」のであります。

「ロータリーの分かちあいの心」を重ねる中には、他を批判したり、中傷したりすることは微塵もありません。そこには、支えてもらい、支えることが盛んに行われ、協力し合う姿があるのみです。ロータリーライフを省みて「分かちあいの心」にギヤチェンジする必要があります。

この一年、それぞれがもつ長所、知恵、技能、熱意を出し合い、分かち合うのです。「ロータリーは分かちあいの心」でお互いに支えあうのですが、ロータリーをより良い人生の導きとするか否かは、クラブ内における良い（対等な）コミュニケーションができるか否かにかかっています。クラブ内でロータリー談義を交わす回数を重ねるうちに意義あるコミュニケーションができてまいります。大いにロータリーを語り合しましょう。

ロータリーの綱領をしっかりと見据え、ロータリアンであることを自覚し、自己研鑽に励み、謙虚さと微笑を絶やさず、善意に満ちた「ロータリーは分かちあいの心」を大いに発揮していきたいと思えます。さまざまなことが求められる年になりますが、お互い親身にコミュニケーションを交わしあい、「一人は皆のために、皆は一人のために」「分かちあう心」をだしあってクラブを活性化したいものです。

今後、皆様のご提言、ご意見を聴き、明るく、元氣よく、共に澁刺として「ロータリーは分かちあいの心」を実践してまいりましょう。

よろしくお願いいたします。

①人生の最大の榮譽は、やりがいのある仕事に、力を尽くす機会を与えられることである。つらい仕事の中にも、喜びを見い出すことが、人間の英知である。

②人間は生きるために働いているのではなく、働くことによって生きる喜びを与えられているのである。

③他人の嫌がる仕事を黙ってする人間、その存在価値は高い。

猿田神社宮司 猿田 正義 様の辞であります。